



# みんなで学ぼう！ 町のお金の使い道

今年も町の台所事情をお知らせする時節となりました。平成16年度の1年間で町が使ったお金の中身をご覧いただき、今後の町政の動きを知っていただきたいと思います。

今年も財政事情に詳しい町のご意見番「彦左衛門」さんの登場です。質問者は町の財政状況を勉強している町民代表の「さくら」さん（町の財政状況を色々知りたい町民代表） 進行役は広報担当「D」が努めさせていただきます。

## 一般会計

D さて、16年度の決算の特徴を教えてください。

彦左さん ン、一般会計の決算は、前年度と比べると増加したわけじゃが、知つてのとおり環境や、少子化、防災面など借入れをしてでもやらにやならん仕事があつたわけじゃ。収入の大きな割合を占めておる町税のうち町民税が大きく伸びたことも幸いしたがの！

さくらさん どうして町税が伸びたのですか？

彦左さん 自動車関連企業や製薬会社の業績が好調じゃつたことで、法人町民税の増加が大きかつたからじゃよ。

さくらさん 町税のほかには何が増えたのですか？

彦左さん ほかに町の借金である町債が大きく増えておる。

これは主に、10年ほど前に高金利で借り入れたものを、低金利のものに借換したもののじゃ。

D 昨年度はどんな施設整備が行われたのですか？

彦左さん そうじゃな、16年度に取り組んだ大きな事業について話をしようぞ。

まず、消防費では消防庁舎建設事業じゃ。新しい消防庁舎の建設と消防ポンプ車、水槽車を



今年完成した消防庁舎

購入し重要課題である防災面の強化をしたわけじゃ。農林水産業費では、各集落で生活道を始めとする環境整備が進められておるところじゃよ。次に土木費。

道路新設改良事業では、道路整備のための測量や用地購入、物件補償や工事のための予算が使われたのじゃ。教育費では、豊坂小学校の耐震補強、大規模改造工事が行われ、今後各小中学校も順次進めていく予定じゃ。

これらをひっくりくるめて普通建設事業と云い、総額にすると22億9、600万円、歳出予算全体の18・9%の割合となるのじゃよ。

費目別のグラフを見てみるとそのへんがよつ分かるのじゃろつ。

さくらさん ところで費目別グラフを見てみると昨年度は公債費が大きな割合を占めていますね。

彦左さん そうじゃな。これは10年前の町債の借換のため一括返還をしたため、昨年度は特別に多かつたのじゃよ。

さくらさん あと、物件費も同じくらい大きな割合を占めていますね。

彦左さん そうじゃな、物件費にはいろいろな経費が含まれているのじゃよ。役場など公共施設で働くパートさんの賃金を始め事務用品などの消耗品に使われたもので、一番大きいのはなんといつても委託料じゃな。公



耐震補強が行われた豊坂小学校

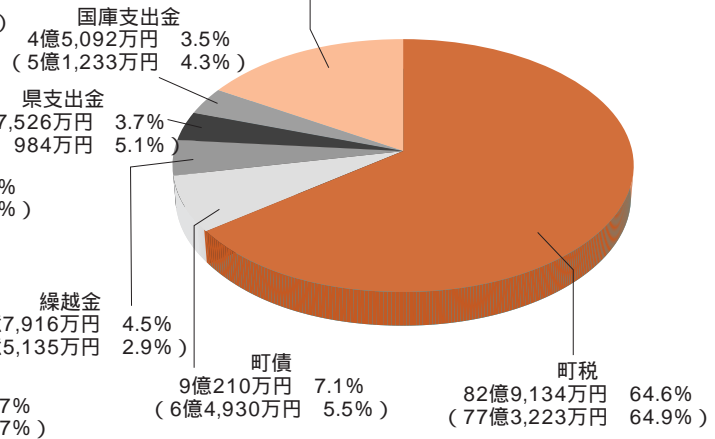
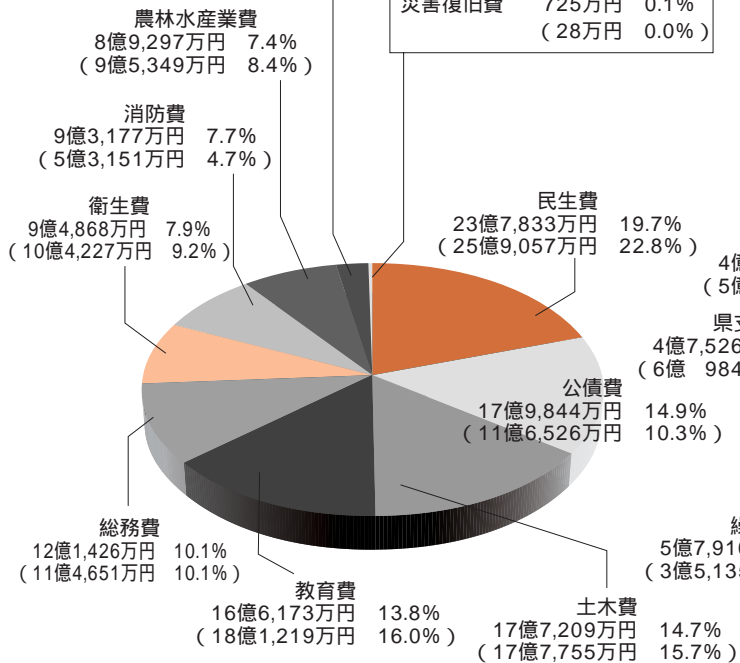
**歳出** 120億5,112万円  
(前年度:113億3,685万円)

**歳入** 128億4,389万円  
(前年度:119億1,600万円)

議会費	1億6,201万円	1.3%
	(1億4,657万円)	1.3%
商工費	1億4,837万円	1.2%
	(1億3,378万円)	1.2%

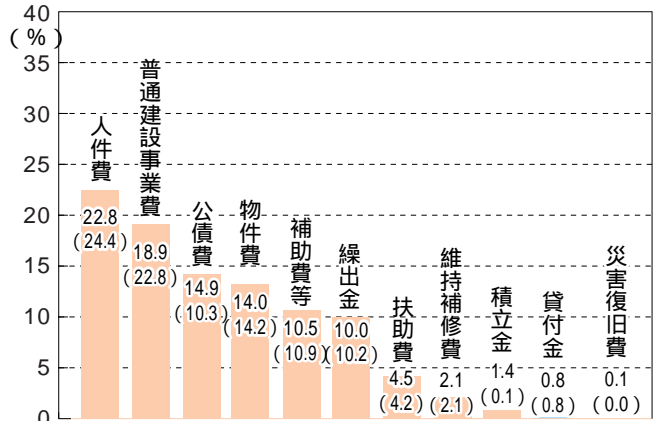
諸支出金	1億290万円	0.9%
	(57万円)	0.0%
労働費	3,232万円	0.3%
	(3,632万円)	0.3%
災害復旧費	725万円	0.1%
	(28万円)	0.0%

地方消費税交付金	3億8,896万円	3.0%	(3億4,742万円)	2.9%
諸収入	3億5,980万円	2.8%	(3億4,493万円)	2.9%
地方特例交付金	3億3,301万円	2.6%	(2億8,555万円)	2.4%
使用料及び手数料	2億6,985万円	2.1%	(2億7,369万円)	2.3%
地方譲与税	2億1,970万円	1.7%	(1億5,072万円)	1.3%
分担金及び負担金	2億773万円	1.6%	(2億144万円)	1.7%
自動車取得税交付金	1億7,240万円	1.3%	(1億4,402万円)	1.2%
地方交付税	5,122万円	0.4%	(5,538万円)	0.5%
利子割交付金	4,098万円	0.3%	(4,099万円)	0.3%
繰入金	3,633万円	0.3%	(1億6,798万円)	1.4%
ゴルフ場利用税交付金	2,742万円	0.2%	(2,668万円)	0.2%
株式等譲渡所得割交付金	972万円	0.1%		
配当割交付金	967万円	0.1%		
財産収入	939万円	0.1%	(776万円)	0.1%
交通安全対策特別交付金	588万円	0.0%	(589万円)	0.0%
寄附金	276万円	0.0%	(849万円)	0.1%



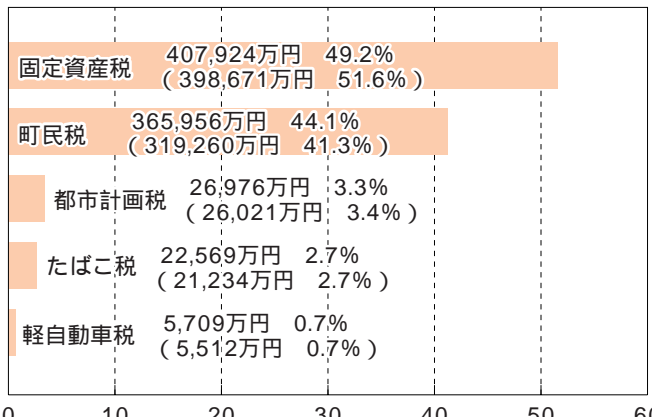
( )は前年度

費目別区分



( )は前年度

町税内訳



( )は前年度

共施設を維持していくのに必要な施設の管理やコンピュータなどの機械の保守点検を専門の業者に委託した経費なのじゃよ。

D それでは、そのほかの主な費目もどんなものか教えてください。

彦左さん そうじゃな、次に大きい補助費等、これは国や県他の団体に対する負担金や補助金なのじゃ。社会福祉協議会やシルバー人材センターの運営補助や委託料もここに分けられるぞ。

繰出金は、さくらさんに説明してもらおうかな。

さくらさん まかせてください。幸田町には一般会計のほか特別会計(7会計)があって、それを運営するために支出するお金ですよ。

彦左さん すばらしい！それとおりじゃ。今年もここでおいをしておこうかの。

これまでの話は、一般会計と違ってな、税金などを財源として行政活動の基本的な経費を賄っておるのじゃ。幸田町にはそのほかに一般会計とは別に区分されておる7つの特別会計と1つの企業会計が設けられておるのじゃ。これらの特別会計などへの運営資金として一般会計から支出されるお金のことを繰出金と言っのじゃ。

# 決算状況

(単位：万円)

会計名			歳入(a)(伸び率)	歳出(b)(伸び率)	差額(a)-(b)
一般会計			1,284,389 (7.8%増)	1,205,112 (6.3%増)	79,277
特別会計	土地取得特別会計		56,282 (7.0%増)	56,282 (11.4%増)	0
	国民健康保険特別会計		219,505 (6.8%増)	207,350 (4.7%増)	12,155
	老人保健特別会計		197,874 (5.6%増)	197,057 (5.6%増)	817
	介護保険特別会計		87,077 (4.0%増)	86,435 (6.2%増)	642
	通所介護サービス特別会計		954 (19.9%減)	954 (19.9%減)	0
	農業集落排水特別会計		35,144 (48.1%減)	34,488 (48.5%減)	656
	下水道事業特別会計		92,524 (0.4%増)	91,188 (0.5%増)	1,336
企業会計	水道事業	収益的収支	62,112 (2.0%減)	56,541 (4.6%減)	5,571
		資本的収支	16,056 (38.4%増)	22,449 (15.3%増)	6,393
合計			2,051,917 (4.9%増)	1,957,856 (3.7%増)	94,061

\* 企業会計のみ税抜き

## 特別・企業会計

D では、16年度の幸田町の特別会計と企業会計でどのようにお金が使われたのか教えてください。

彦左さん よっしゃ。一般会計は主に税金を財源として運営されておるのじゃが、特別会計はな、特定された事業を実施する場合、特定の資金をもって運営される場合に限って設けられておるのじゃ。

ここからは16年度の特別会計と企業会計について、一つずつ説明していこうかの。

まずは、土地取得特別会計じゃ！

この会計は、公用・公共用に使われる土地や公共の利益のために事前にあるいは機動的に土地を購入するための会計なのじゃ。

16年度は、荻谷小学校用地を購入したのじゃ。

国民健康保険特別会計はな！

勤務先で健康保険などの適用を受けない町民のかたが病气やケガをした時に本人の負担以外の医療費を医療機関などに支払ったり、出産や死亡した時に経費の一部を加入者みんなまで支給したりする会計なのじゃ。

16年度の加入状況は、4、



国民健康保険事業によるいきいき健康教室

961世帯10、535人で町民の約3割がこの保険に加入しておるわけじゃ。

老人保健特別会計はな！

老後の健康を保つため、予防から医療や機能訓練など総合的な保健医療のために使われておるのじゃ。

16年度末の受給者数は、2、960人で、一人平均で年間約64万円使われたことになるのじゃ。

介護保険特別会計はな！

高齢になって、寝たきりや介護が必要となった場合に受ける介護サービスの本人負担以外の経費を加入者みんなで医療機関などに支払っておるのじゃ。

16年度では、645人が要介護、157人が要支援の認定を受けて各種サービスを受けたのじゃ。

通所介護サービス特別会計はな！幸田町デイサービスセン

ターを運営するための会計じゃ。介護の認定を受けた人が、健康のチェック、入浴の介助、機能の回復訓練や介護の相談などのサービスをするために使われているのじゃ。16年度は、延べ1,324人が利用されておる。

次は、農業集落排水事業特別会計じゃ！

幸田町は、全町下水道化が進められておる。この会計は農村集落の環境整備の一つとして進められておるのじゃ。16年4月には最後の地区である上六栗地区も供用開始し、町内13地区すべての工事が完了したのじゃ。そのため維持管理事業のみとなったため、決算は大幅な減となったのじゃ。

下水道特別会計はな！

農村集落以外の市街地の下水道整備などを運営しておる。

幸田町では、既存の市街化区域の整備が概ね完了し、周辺集落区域と新市街化区域の整備をしたのじゃ。

16年度末で市街化区域の水洗化人口は、15、299人となり、下水道普及率は56・5%となったわけじゃ。

最後は、水道事業会計じゃ！この会計は企業会計と言うてな、幸田町の水道事業の運営がされておる会計なのじゃ。

幸田町の水道普及率は16年度

## 指標で見る財政情報

### 経常収支比率

経常的・義務的経費にあてる割合  
65～75%...適正  
75%以上...要注意

16年度...77.1%  
15年度...77.6%  
14年度...77.9%



### 公債費比率

借金の一般財源に占める割合  
10%以下...望ましい

16年度...16.4%  
15年度...15.7%  
14年度...13.5%



### 財政力指数

財政上の力を示す指数  
指数が1以上の団体は  
財政力の強い団体といえる

16年度...1.44  
15年度...1.29  
14年度...1.24



平成16年度に使われたお金を  
町民一人あたりに換算すると...

# 345,552円

(前年度：328,757円)

120億5,112万円 ÷ 34,875人  
(一般会計) (H17.3.31)

町民一人あたりを目的別に見てみると...

1	民生費	68,196円 (75,124円)	8	農林水産業費	25,605円 (27,650円)
2	公債費	51,568円 (33,791円)	9	議会費	4,645円 (4,250円)
3	土木費	50,813円 (51,547円)	10	商工費	4,254円 (3,880円)
4	教育費	47,648円 (52,552円)	11	諸支出金	2,951円 (17円)
5	総務費	34,817円 (33,248円)	12	労働費	927円 (1,053円)
6	衛生費	27,202円 (30,225円)	13	災害復旧費	208円 (8円)
7	消防費	26,717円 (15,413円)			( )は前年度



住宅開発が進む相見地区(鷺田、高力区内)

一般会計・特別会計  
町民税(法人)の大幅な増加  
などの中にあつて、消防庁舎建  
設、道路橋梁整備、土地区画整  
理、小中学校整備など町民の暮  
らしを守るための各種事業が実  
施された。また、経費の節減に  
努められており、総じて計画的  
な行政運営に鋭意努力され、所  
期の目的を概ね達成されたと認  
められる。

### 決算審査報告

幸田町監査委員 内田 俊彦  
山口 文雄

決算審査に付された各会計の  
歳入歳出決算書などはいずれも  
関係法令に準拠して作成され  
ており、計数は正確であり、執  
行は概ね適正であると認められ  
た。

未99・3%で、水源は県水から  
水を買って各家庭に配水してお  
るのじゃ。16年度の総配水量は  
427万2、980立方メートルで、  
前の年よりも83、902立方  
メートル増加となったわけじゃ。  
どうじゃな、この厳しい状況  
の中、限られた財源を活かして、  
幸田町では実に様々な事業が進  
められておるのじゃ。分かつて  
もらえたかのう。

水道事業会計  
水道施設の成績指標ともいわ  
れる有収率は前年度を上回り、  
県内平均を上回る高い率を維持  
しているものの、水道施設の耐  
震化など災害に強い施設の構築  
に取り組む必要がある。清浄に  
して豊富低廉な水の供給を図る  
ため、より一層の経営努力をお  
願いしたい。

以上のとおりであるが、地方  
分権の推進、公共施設の耐震化、  
最終処分場建設など大規模事業  
が控えていることから、今後と  
も財源確保に努め、計画的な事  
務の執行に心掛け、効果的な行  
政運営を推進し、町民の福祉向  
上を図られるように強く望むも  
のである。

た。16年度も、いろいろな事業  
が進められて、いろいろなこと  
に使われているんですね。これ  
からもお金の使われかたに関心  
を持っていきたく思います。  
D ここではほんの少ししかお  
伝えできませんが、詳しいこと  
がお知りになりたいかたは、ど  
うぞ役場へ来て聞いてください  
ね。  
問合せ 財政課財政係  
(内線314)